

～茨城県立医療大学特別講義開催～

令和5年2月15日(水)本校視聴覚室にて1、2学年が茨城県立医療大学作業療法学科の先生方の特別講義を受講しました。昨年12月、本校2学年希望生徒のためにテラーメイド授業をしてくださった時にとっても好評だった、^{きなだいくよ}真田育依先生、^{きぐちなおと}木口尚人先生に、講義をお願いしました。

『作業療法とは』、『コミュニケーションに必要な27のスキル』の講義を受けて(生徒アンケートより)

①「作業療法士は医療でしか活躍していないと思っていたが、司法・教育・保健など、様々な場所で活躍していることを知り、改めてすごいと感じた。」

②「12月の県立医療大作業療法学科テラーメイド授業に参加した際も、コミュニケーション能力に対する同じアクティビティをやり、家に帰ってからその時のものと比べてみて、大きな違いがあって驚いた。△と評価したものが今回は◎になっていた項目もあれば、その逆もあって、たった二カ月弱で変わることにおもしろいと思った。将来の自分がなっていたい職業なので、とても有意義な時間を過ごせた。」

③「コミュニケーションというものが生きていく上で必要であるのは前提として、そのやり方を27にも及ぶ項目から客観視するという行為がなかなか面白いと思った。」

④「周りの人とお互いに確認しながら、自分のコミュニケーションの癖を知ることができて、ためになったし、楽しかった。自分のコミュニケーションの取り方で改善したいことが何個か出てきたので、それを意識していきたいと思った。」

上記のような感想を持つことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。先生方ありがとうございました。

